

※ 茨城県つくば市

人口 254,669人 面積 283.7km²

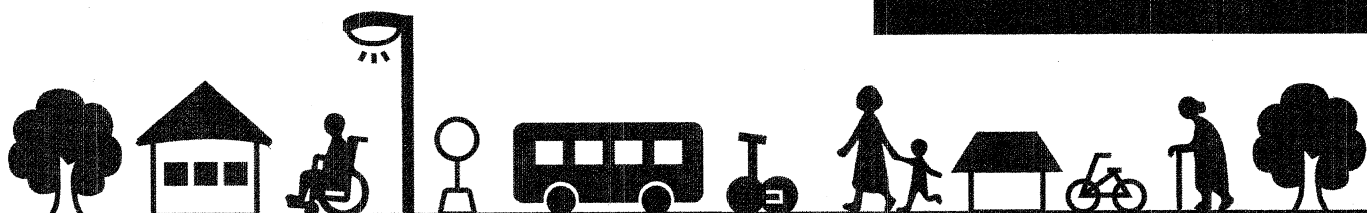
市長公約事業のロードマップ 2020-2024〈2023改訂版〉

世界のあしたが見えるまち

ともに創る

- 1 徹底した行政改革
- 2 安心の子育て
- 3 頼れる福祉
- 4 便利なインフラ
- 5 活気ある地域
- 6 誇れるまち

令和5年6月
つくば市



本ロードマップの作成に際して



本ロードマップは、各公約について、いつまでに、どのような目標を持って、どのように取り組むのかについて工程を記載したものです。



毎年度、どこまで実現できたかを示すため、年度ごとの実施内容等を明らかにして進行管理を行います。



各公約の事業費見込みは、事業を実施する際に発生する費用などについて、想定される範囲で記載しています。（一部、想定が困難な箇所を「―」と表しています。）



本ロードマップは、作成日時点での内容となり、今後随時見直します。

進捗状況評価の概要

令和2年（2020年）12月に公表した市長公約事業のロードマップでは、公約に位置付けた各事業の個票を掲載し、実施内容とスケジュールをお示ししました。この度、令和4年（2022年）までの最終的な事業の進み具合を評価しましたので、皆さまにお知らせします。

評価結果

達成S：15/165 個票※（9.1%） ➡ 当初の公約が実現した場合

順調A：100/165 個票（60.6%） ➡ 指標値を達成している場合

➡ 指標値がない事業は、年次計画どおり進捗している場合

おおむね

順調B：33/165 個票（20.0%） ➡ 指標値を達成していないが、実績において現状値（または前年度）からの改善・上昇傾向がみられる場合

➡ 年次計画通りでないものの、着実な進捗がみられる場合

遅れC：17/165 個票（10.3%） ➡ 指標値を達成していない場合

➡ 指標値がない事業は、実施内容の年次計画どおり進捗していない場合

未着手D：0/165 個票（0.0%） ➡ 事業に着手していない場合

※市長公約は全135事業で構成されていますが、1つの公約事業の中に複数の事務事業（担当課や事業内容が異なる事業）を位置付けて、それぞれに個票を作成しているものがあることから、全部で165の個票の評価としています。

公約事業一覧

<進捗状況評価の説明>

- S 当初の公約が実現したもの
- A 指標値を達成しているもの（年次計画どおり進捗しているもの）
- B 改善・上昇傾向がみられるもの（年次計画どおりではないが着実に進捗しているもの）
- C 指標値を達成していないもの（年次計画どおり進捗していないもの）
- D 事業に着手していないもの

No.	公約事業名称	評価	頁数
1 徹底した行政改革 さらに市民第一の市政へ			
1	スマホから「いつでも・どこでも」可能な行政手続きを実現	B	1
2	ほしい市役所の情報が自動で届き、道路破損などの気づきを気軽に通報できる双方向のシステムを導入	C	1
3	規制緩和を実現する内閣府スーパーシティ構想への申請とプライバシーを重視したデータ利活用	A	2
4	AI（人口知能）等の活用により業務効率化や行政サービス充実を推進	A	2
5	市民活動センターをリニューアルし地域活動の拠点整備	A	3
6	センタービルに便利な市役所窓口を新設	A	3
7-1	地域活動を応援するため、寄付制度等の活用をさらに推進〔アイラブつくばまちづくり寄附基金〕	A	4
7-2	地域活動を応援するため、寄付制度等の活用をさらに推進〔アイラブつくばまちづくり補助金〕	A	4
7-3	地域活動を応援するため、寄付制度等の活用をさらに推進〔つくばこどもの青い羽根基金〕	A	5
8	持続可能な社会を実現するため、多様な主体が連携したまちづくりを推進	A	5
9	地域経済やまちづくりに貢献してきた方々への名誉市民や表彰の積極的授与によりともに創る市政を推進	A	6
10-1	区会、民生委員・児童委員等の活動支援や担い手育成〔区会〕	A	6
10-2	区会、民生委員・児童委員等の活動支援や担い手育成〔民生委員・児童委員〕	A	7
11-1	市政や市民の取り組みに関する情報発信の強化〔市政情報〕	B	7
11-2	市政や市民の取り組みに関する情報発信の強化〔市民情報〕	A	8
12	市役所の女性管理職の増加	B	8
13	市役所の男性職員の育休取得率向上	C	9
14	性的少数者が暮らしやすい環境づくり	B	9
15	日本語学習環境の充実等による海外出身者も住み続けたいくなるまちづくり	A	10
16	市の審議会等の会議について女性委員割合を向上させるなど多様性を高める	C	10
17	コーチングの手法活用により市役所職員の主体性をさらに引き出す	A	11
18	NPOや社会的企業等での実地研修による市役所職員の育成	A	11
19	高エネ研南側の総合運動公園用地について市民や市議会とともに方向性を決定して最終解決へ	S	12
2 安心の子育て こどもとママパパにもっとやさしい子育て環境			
20	産婦人科開設の助成金による市内で出産しやすい環境整備	C	12
21	マル福を高校生の外来診療まで拡大して家庭の負担を軽減	S	13
22-1	妊婦や子育て世帯の孤立や虐待を防ぎ、悩みに寄り添う相談事業の推進〔ホームスタート事業〕	A	13
22-2	妊婦や子育て世帯の孤立や虐待を防ぎ、悩みに寄り添う相談事業の推進〔子育て支援短期養育事業（ショートステイ）における里親の活用〕	A	14
23	不妊治療・不育症治療への支援を推進	A	14
24	市内保育所の定員拡充と月3万円の助成金による民間保育士確保の継続	A	15
25	病児保育受け入れ施設のさらなる充実	S	15
26	公立保育所の建て替え・改修の推進	A	16
27-1	公立保育所での昼食用白米持参・オムツ持ち帰りの慣行を見直し〔白米持参の慣行見直し〕	A	16
27-2	公立保育所での昼食用白米持参・オムツ持ち帰りの慣行を見直し〔オムツ持ち帰りの慣行見直し〕	S	17
28	公立幼稚園での満3歳からの受け入れを対応可能な園から試行的に開始	A	17
29	放課後児童クラブの待機児童をゼロへ	C	18
30	児童館プレイルームのエアコン設置を推進	A	18
31-1	研究機関と連携したつくばの強みを活かす科学教育〔体験型科学教育事業（つくばSTEAMコンパス）〕	A	19
31-2	研究機関と連携したつくばの強みを活かす科学教育〔研究機関等と連携した科学教育事業〕	C	19
32	公民連携で推進するフリースクールにより不登校の児童生徒が安心して通える居場所を確保	B	20
33	「教えから学びへ」の転換を理念とする新たな教育大綱に基づく教育改革の推進	A	20
34	学習用品の共有化を推進して購入や名前記入の保護者負担を軽減	A	21
35	教職員の働き方改革を推進	A	21
36	2020年度中の一人一台の児童生徒用パソコン整備	S	22
37	理科室・音楽室等の特別教室のエアコン設置を推進	A	22
38	つくばエクスプレス沿線での5校の新設校及び増築校舎の着実な建設	A	23
39	県立・私立高校の誘致に向けた県や私立学校への働きかけ	A	23
40	雨漏り対策など長寿命化の推進〔学校施設〕	A	24

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2023改訂版)

公約 番号	1	公約事業名称	スマホから「いつでも・どこでも」可能な行政手続きを実現				担当部課	政策イノベーション部情報政策課、科学技術戦略課 市民部市民窓口課			
内容	スマホを使って、「いつでも・どこでも」可能な行政手続を実現する。また、情報弱者に対しても、窓口においてデジタルで手続ができるようにする。										
進捗評価	おおむね順調 B	評価の分析	該当手続27件のうち、10件の手続がスマホでできるようになった(実績値37.0%)。デジタル・ガバメント推進会議(デジタル窓口WG)でシステムの不具合の改善を行った。また、パスポート更新(切替申請)のオンライン手続きを追加した。								
重要業績 評価指標 (KPI)	市民窓口課の各種手続のうち、スマホで手続ができる割合(%) (年間取扱件数概ね1,000件以上の手続について、スマホで手続ができるようにする 該当手続27件)						現状値(指標設定時)	3.7%			
							現状値(2022年度末) ※今回、指標設定する場合	—			
		2020年度	2021年度	2022年度			2023年度	2024年度			
	目標値	—	30.0	41.0			67.0	77.8			
	実績値	7.4	33.3	37.0							
実施内容 [凡例] 計画 実績	電子申請システムの 運用・拡充										
	デジタル・ガバメント推進 会議での検討・実施										
	窓口のデジタル化										
	スマートシティ協議会 行政サービス分科会 との連携										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		0	32,597	2,189	33,678	3,460	4,740	4,538		3,018	
備考	・2020年度に新たに電子申請システムを構築し、スマホから住民票の写しの交付請求、転出届ができるシステムを2021年2月から稼働。 ・2021年度には、印鑑登録証明書の交付請求や戸籍証明書の交付請求を追加した。 ・2022年度にはデジタル・ガバメント推進会議(デジタル窓口推進WG)でデジタル窓口の課題を抽出し、改善を行った。また、2023年2月6日から「引越しワンストップサービス」がスタートし、窓口のデジタル化が推進されることが期待される。また、3月27日からパスポート更新(切替申請)がオンラインでできるようになった。 ・今後は、電子申請が可能な手続のオンライン化を推進し、オンライン化が難しい手続はどこにボトルネックがあるか整理していく必要がある。										

公約番号	2	公約事業名称	ほしい市役所の情報が自動で届き、道路破損などの気づきを気軽に通報できる双方向のシステムを導入				担当部課	政策イノベーション部科学技術戦略課			
内容	スマートフォンアプリに属性を登録し、個人情報の取扱方針等に同意した市民に対し、属性情報(※1)、移動情報、閲覧履歴等から必要性が高いと思われる生活、イベント、防災・防犯、行政手続に関する情報等を多言語により必要な方に自動でお知らせするポータルサイトを構築する。この際、市に対する意見や道路破損などの気づきを市民が気軽に通報できるようにする。※1 本個票で使用する「属性」とは、例えば、年齢、性別、居住地、家族構成、職業、収入など、個人の特性をいう。										
進捗評価	遅れ C	評価の分析	つくスマを2022年4月リリースし、2023年2月末時点で約12,500ダウンロード。2023年3月末のアップデートで図書館カードに対応したため、既存の図書館カード保有者(約2万人)のうち、未だダウンロードしていないユーザのダウンロードが見込める予定である。また、AIチャットボット、つくパスロケーション機能等を追加し、利便性を向上させることで利活用の促進を図る。								
重要業績評価指標(KPI)	スマートフォンアプリをダウンロードした市民の割合(%)						現状値(指標設定時)	0%			
							現状値(2022年度末) ※今回、指標設定する場合	—			
		2020年度	2021年度	2022年度		2023年度	2024年度				
	目標値	0.0	5.0	10.0		15.0	20.0				
	実績値	0.0	0.0	5.0							
実施内容 [凡例] 計画 実績	仕様作成 運用										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		1,600	1,600	0	0	24,584	24,395	25,489		25,489	
備考											